

話題あれこれ

今年も大事な憲法9条

1月2日は書初め。珍しく2日が空いたので久しぶりに書初めをしました。森谷明仙さん(書家)の憲法9条を書いたはがきをお手本に、半紙に書きました。ちひろカレンダーの絵と一緒に額に入れ、玄関に。



安倍内閣の憲法改悪へのたくらみ、集団的自衛権の行使など危険な動きが今年はさらに強まるでしょう。

平和を広げる憲法9条の思いをもっともっと多くの人に伝えていきたいと思います。

(釘丸久子)

一富士二鷹三茄子をゲット

新年の縁起物といえば、初夢というのもありまして。「一富士二鷹三茄子」

1月2日に鷹を見ました。浜離宮での

諏訪流放鷹術(すわりゅうほうようじゅつ)。

鷹匠の腕から鷹を飛ばして、他の鷹匠の腕に止まらせる。木に止まっている鷹を鷹匠の腕に呼び戻す。250mのビルの屋上から急降下して、地面の鳩を捕まえる。テレビなどで見るのは、うまくいったときなのですが、いつでもそうとは限りませ



ん。

この日はなかなか飛ばず。その上、急降下するときに、野生の鷹との空中戦で鳩どころではなく、海岸の方へ逃げて行って、イベントはそこまで。後で、鷹匠が迎えに行きました。

1月3日は富士山。諏訪湖に毎冬やってくるオオワシを見に行き、湖面で魚を獲る瞬間を見る。オオタカ、ノスリも空を舞う。その帰りに、中央道から富士山を眺める。サービスイリアで、茄子の漬物を買おうと思ったら、売り切れ。

1月4日に、家の近くのお店で茄子を買いました。「一富士二鷹三茄子」の初夢ならぬ、現実でした。

ところで、めでたい初夢、続いて「四扇五煙草六座頭」ってご存知ですか？
富士と扇は末広がり、鷹と煙草は上に上がる、茄子と座頭は毛が無いので怪我無し・だとか。
(栗山香代子)

2. 少子化対策・子育て支援の充実を

- ①小児医療費助成制度を、国の制度とするよう引き続き国に要求すること。
- ②県に対し、小児医療費助成制度の補助率の引き上げ、一部負担金の廃止を引き続き要求すること。
- ③保育所については、施設の増設・拡充や民間施設への助成で、待機児童解消をはかること。入所にあたっては保護者の勤務地など希望に沿うようにすること。
- ④子どもの保育環境改善のため、定員越え保育の解消をはかること。また、国に対して、保育基準引き下げなどの改悪を行わないよう要求すること。
- ⑤厚木市子ども育成条例にのっとり、育児休業制度を全事業所で実施し、母親だけでなく父親も取得できることを周知すること。民間の実施状

況を調査すること。休業中の給与保障を国に求めること。

- ⑥保育所の障害児・ゼロ歳児・時間外保育を拡大し、病児保育の実施、および病後児保育の拡大をすること。
- ⑦市が助成対象としている保育施設等について実態を調査し、保育環境の改善をはかるよう支援すること。
- ⑧市立保育所については、引き続き公立保育所として存続すること。保育士はできる限り正規雇用とすること。
- ⑨市立保育所の全国民営化の計画を撤回すること。
- ⑩私立幼稚園就園奨励金の支給事業を拡充すること。
- ⑪不妊治療費助成事業を拡充すること。
- ⑫不育症治療への支援を行うこと。また、国・県へも支援を要望すること。

3. 子どもと教育の危機を打開するために

- ①「子どもの権利条約」の学習・周知をはかり、子ども育成条例の実効性を高めること。
- ②いじめ、不登校などの実態を把握し、早期の解決をはかるため、問題が大きくなならないうちに解決できるような、情報の共有ができる風通しの良い教職員間の関係を確立すること。
- ③子どもたちと向き合う時間を確保するために、教職員の多忙の実態を調査し、解消する具体的な対策を講じること。
- ④少人数学級を小学校の全学年で実施すること。また、国に対しても拡大するよう求めること。
- ⑤学童保育は一教室当たりの定員を少なくし、希望者が全員入所できるよう拡充をはかること。
- ⑥小中学校の障害児介助員については、障害特性に合わせて人員を増員し、適切な介助ができるようにすること。

- ⑦学校図書館の充実をはかり、子どもたちが読書に親しめる環境をつくること。司書教諭が専任できるよう教員配置を増やすなど人的措置を講じること。
- ⑧私立高等学校等の学費等のいっそうの負担軽減をはかること。
- ⑨障害児が急激に増えおり、特別支援学校の基準がないために「すしづめ」状態になっている実態がある。厚木市内に県立特別支援学校を早期に設置するよう、県に求めること。
- ⑩内部被曝を防ぐために、小中学校・保育所等の給食食材の安全性を確保するよう努めること。
- ⑪都市計画道路の建設に伴う三田小学校の再整備については、保護者・児童・住民に対して、経過および今後の計画を明らかにし、住民の不安を払拭すること。また、工事期間中は、通学路の安全を確保し、学習環境に十分配慮すること。